

報道関係者 各位

弊社最終親会社である米国モーニングスター社は、2020年4月21日に、環境・社会・ガバナンス（ESG）レーティングと調査で業界を代表とするサステイナリティクスを買収することで合意に達したと発表しました。米国モーニングスターとサステイナリティクスが協働することで、個別銘柄投資からポートフォリオ運用まで、すべての投資家があらゆるレベルで独立したサステナブル投資分析を行うことができるようになります。

米国モーニングスターは、2017年にサステイナリティクスの株式の約40%を取得しており、今回は、残りの約60%を買収します。買収は、買収成立に必要な慣習的条件を満たした後、2020年第3四半期に完了する見込みです。詳細なプレスリリースは[こちら](#)からご参照ください。なお、プレスリリースの参考日本語訳は、本メールの下部に記載をしています。

気候変動からサプライチェーンにおける企業活動に至るまで、投資に対する考え方は進化し、ステークホルダー資本主義が支持を集めています。今やサステナブル投資戦略の資産運用残高は30兆ドルに達し、2,300を超える運用機関、アセット・オーナー、年金基金、およびサービス提供者が国連責任投資原則（PRI）に署名をし、投資戦略にESGを組み入れることをコミットしています。企業のエコノミック・モート（競争優位性）の持続可能性評価や信用力の安定性評価も含め、ESGは長期投資の将来を担うものといえます。

米国モーニングスターとサステイナリティクスは5年以上にわたり協業しており、すでに様々なESGソリューションを提供しています。サステイナリティクスの企業レベルのESGレーティングに基づく業界初のファンドのサステナビリティ・レーティング（世界40,000本超の投資信託およびETFをカバー）、世界の市場を網羅するサステナビリティ・インデックス・ファミリー、炭素排出測定指標やESG評価の対象となる製品に関するデータを含む広範にわたるサステナブル・ポートフォリオ分析のための新たな分析を、米国モーニングスターが提供するプロダクト、サービスを提供しており、今後さらにこの取り組みを充実させていきます。

お問い合わせ先

Ibbotson Associate Japan 広報担当

products@ibbotson.co.jp

03-5511-7540

以下、2020年4月21日付の「Morningstar to Acquire Sustainability and Expand Access to ESG Research, Data, and Analytics for Investors Worldwide」の参考訳です。詳細は[プレスリリース原文](#)をご覧ください。

## 米国モーニングスター、サステイナリティクスを買収。ESG 投資のための調査、データ、分析をさらに拡充させ世界中の投資家に提供

米国モーニングスターおよびサステイナリティクスの協働により、すべての投資家がより公平で持続可能な世界経済の実現に貢献することを可能にし、長期的で社会的価値の高い資産運用で成果を上げることを支援

2020年4月21日 シカゴ、アムステルダム発

独立系大手投資調査会社である米国モーニングスター (Morningstar, Inc.、NASDAQ: MORN) は本日、環境・社会・ガバナンス (ESG) のレーティングと調査で業界を代表するサステイナリティクスを買収することで合意に達したと発表しました。米国モーニングスターは、2017年にサステイナリティクスの株式の約40%を取得しており、今回の合意で残りの約60%を買収することになります。

買収価格には、買収完了時に支払うおよそ5,500万ユーロ (潜在的な調整を前提とする) の現金と、サステイナリティクスの2020年度と2021年度の売上高の倍率に基づく、2021年度と2022年度の追加的な現金の支払いが含まれています。現時点での想定では、買収完了時に支払う現金にもとづく米国モーニングスターによるサステイナリティクスの企業価値は、1億7,000万ユーロになります。買収は、買収成立に必要な慣習的条件を満たした後、2020年第3四半期の早い時期に完了する見込みです。

米国モーニングスターのクナル・カプア最高経営責任者 (CEO) は次のように述べています。「公開市場およびプライベート市場の先進的な投資家は、十分な情報に基づいた社会的価値の高い投資判断を行うために、ESGのデータ、調査、レーティング、ソリューションを必要としています。気候変動からサプライチェーンにおける企業活動に至るまで、投資に対する考え方は進化し、ステークホルダー資本主義が支持を集めています。企業のエコノミック・モート (競争優位性) の持続可能性評価や信用力の安定性評価も含め、ESGは長期投資の将来を担うものといえます。米国モーニングスターとサステイナリティクスが協働することで、個別銘柄投資からポートフォリオ運用まで、すべての投資家があらゆるレベルで独立したサステナブル投資分析を迅速に行うことができるようになります。米国モーニングスターは「投資の民主化」を支援し、より公平で持続可能な世界経済の実現に貢献するというサステイナリティクスのミッションをさらに拡張していきます。」

サステイナリティクスは、世界中の投資家、銀行、企業にESGソリューションを提供する必要性をいち早く認識し、25年以上の間、業界の先駆者として事業を展開してきました。同社は、個別銘柄レベルのESGリスクのレーティングで広く知られています。レーティングは、機関投資家の投資プロセスに統合され、数多くの指数やサステナブル投資のための金融商品の基盤となっており、また、新興のサステナブル・ファイナンス業界において増え続けるユースケースに対応しています。サステイナリティクスは、世界中の4万社の企業のデータを提供し、2万社の企業と172カ国にレーティングを付与しています。

2016年以來、米国モーニングスターとサステナリティクスは共同で、サステナリティクスの企業レベルのESGレーティングに基づく業界初のファンドのサステナビリティ・レーティング、世界の市場を網羅するサステナビリティ・インデックス・ファミリー、炭素排出測定指標やESG評価の対象となる製品に関するデータを含む広範にわたるサステナブル・ポートフォリオ分析のための新たな分析手法を世界中の投資家に提供しています。今回の買収で、米国モーニングスターは、引き続きサステナリティクスの既存事業に投資するとともに、個人投資家、ファイナンシャル・アドバイザー、プライベート・エクイティ・ファーム、資産運用会社、アセット・マネージャーおよびアセット・オーナー、退職プラン・スポンサー、債券発行体などすべての顧客の皆様のために、米国モーニングスターの有する調査能力およびソリューションと、ESGデータ・洞察のさらなる統合を目指していきます。サステナリティクスのマイケル・ジャンツィ最高経営責任者（CEO）は次のように述べています。「サステナリティクスは、米国モーニングスターの一員となる機会を得たことを歓迎しています。ここ数年の協働によって、ESGに関する洞察や戦略を世界中の多くの投資家、ファイナンシャル・アドバイザー、アセット・オーナー、資産運用会社に広めることができました。資本関係を一層強化することは、世界の投資コミュニティや企業の皆様に、ESGに関する社会的価値の高い洞察、プロダクト、サービスを提供する当社の能力を増強するものです。重要なことは、私のスタッフと私自身が、我々のミッションを確信し、我々のビジネスをさらに拡大する意志をもつ企業と一体となることに大きな期待を抱いていることです。」

オランダに拠点を置くサステナリティクスは、世界中に650人を超えるスタッフを擁し、世界16カ所で事業を展開しています。今回の買収によって、現在のサステナリティクスの経営陣のもと全てのスタッフが米国モーニングスターの一員となる予定です。米国モーニングスターは、現金と借入れにより買収資金を調達する計画です。今後、一部の機能の統合や、ファンド事業の成長機会への投資のためのコストが発生すると予想していますが、パーチェス法による会計処理や買収関連費用の影響を除いた買収完了後一株当たり純利益の希薄化は、最小限にとどまる見込みです。

### 米国モーニングスターについて

米国モーニングスターは、北米、欧州、オーストラリア、およびアジアの世界27カ国で事業を展開する独立系大手投資調査会社です。個人投資家、ファイナンシャル・アドバイザー、資産運用会社、退職プランのプロバイダーやスポンサー、債券市場およびプライベート資本市場の機関投資家の皆様に対してさまざまなプロダクトやサービスを提供しています。プロダクトやサービスは多岐にわたり、資産運用商品、上場企業、プライベート資本市場に投資するためのデータや調査・分析、リアルタイムで配信する世界のマーケット・データなどがあります。また、投資アドバイザーを専門とする子会社を通じて、資産運用サービスも提供しており、2019年12月31日現在の助言・運用資産残高はおよそ2,330億ドルに上ります。米国モーニングスターの詳細については、[www.morningstar.com/company](http://www.morningstar.com/company) をご覧ください。

## サステイナリティクスについて

サステイナリティクスは、ESG やコーポレート・ガバナンスのための調査、レーティング、分析などを手掛ける独立系大手 ESG 評価機関です。世界中の投資家の責任投資戦略の開発・導入を支援しています。25 年以上にわたり、進化し続ける世界の投資家のニーズに応えるため、質の高い革新的なソリューションの開発で業界をリードしてきました。現在、サステイナリティクスは、同社の ESG やコーポレート・ガバナンスに関する情報や評価を運用プロセスに組み込んでいる世界大手の資産運用会社や年金基金とともに事業を展開しています。また、数百社に上る企業やその金融仲介機関と協力し、ポリシー、事業活動、投資計画におけるサステナビリティへの取り組みを支援しています。世界 16 カ所のオフィスに 650 人を超えるスタッフを擁しています。スタッフには、40 を超える産業セクターについて、多様な学術的専門知識を有する 200 名以上のアナリストが含まれています。